

あすぴあの書棚にはセンターが選んだNPO関連の新着図書が多数並んでいます。わかりやすくて面白い！



ほんの一例ですが…
 ・NPO マネジメント
 ・草の根 NPO 運営術
 ・ひとつ上のプレゼン
 ・市民活動に活かす助成金ガイド
 貸し出しは登録団体のみ

第3回学習会 地域情報紙が消えていく

1/29

講師：元アサヒタウンズ副編集長 山田優子さん



講師は多摩地域の情報紙として親しまれながら先般37年の歴史を閉じた同紙の創刊から廃刊に至るまで取材・編集に従事した方です。同紙が広告のみに頼るフリーペーパーでなく、全国紙の付録紙ではあるが独自の編集方針を保ってきたこと、多摩地域の市民生活や市民活動の報道に力を入れてきたこと、親新聞社の経営難のためあっけなく廃刊となったことなど市民活動と地域メディアの関わり的重要性を興味深く強調されました。

なお、同紙のバックナンバーは小平市中央図書館にすべてそろっていること、退職後は元同僚とともに towns-web.com〈タウンズウェブ〉というウェブサイトを開設されたとのこと。

第4回学習会

2/5

これからの街づくり 歩車共存を考える

講師：トヨタ自動車(株)IT・ITS企画部 亘理 章さん

講師は、自動車メーカーの現職部長であって、しかも自転車の利用推進に力を入れておられる異色の存在です。「移動」ということは人間の本源的欲求であること、欧州では歩行者・自転車・自動車等の調和のとれた交通体系の実現のために(勿論歩行者が最優先ですが)様々の試みがなされていること、わが国ではまだ相当遅れているので多くの努力が必要であること等が説かれ、さらに、個々の地域の交通問題の解決のためには地域の住民が(政治家も巻き込んで)声をあげていく必要があると強調されました。

講演終了後は、交流スペースに移ってお茶を飲みながら、講師を囲んで議論の尽きることがありませんでした。



第4回市民活動交流サロン

2/19

「市民活動と補助金」 講師：小平市市民生活部市民協働担当参事 河原順一さん

まず講師から、小平市市民学習奨励学級、福祉団体助成金、地域の底力再生事業助成、ゆめ応援ファンド、中央ろうきん助成プログラムなど小平市民が利用しやすい補助金の例と小平市市民協働担当で募集している市民活動支援公募事業*の説明があり、さらに、小平市の補助金の今後のあり方についての話がありました。

その後、質疑・意見交換に移り、参加者同士で意見の交換があり、盛況裡に終わりました。

◎助成金取得体験談等の資料あり

▼利用者懇談会(地域の明日が見えてくる)

2/26

アドバイザーにNPO法人みたか市民協働ネットワーク代表理事の正満たつる子さんを迎えて開かれ、話し合いが熱心に行われました。三鷹市民が行政と話し合いながら提言をしてきた歴史と参加者が常に循環するまちづくりディスカッションの様子等がわかりました。

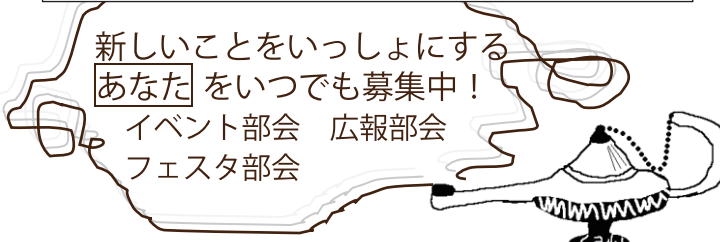
また、あすぴあの利用者アンケートには、利用直前に会議室利用申込み可能、空いていればOK、夜もOKという点がよい/インターネット使用ができる/交流スペースは予約がいらないので助かる、等々の声が寄せられました。

平成22年度 小平市市民活動支援公募事業*

◆精神障がい者を支援する市民講座(連続7回)

主催：NPO 小平ハートピア

7回目の「精神障がい者を支える地域の市民協働を考える」では、孤立無援の中で介護している母親が言葉にできない気持ちをなんとか言葉にしている姿が印象的でした。また「当事者である私たち抜きに私たちのことを決めないで」という大学院生の切なる願いが心を打ちました。



新しいことをいっしょにする
あなたをいつでも募集中!

イベント部会 広報部会
 フェスタ部会

ボランティア・市民活動情報紙 あすぴあ通信 発行/平成23年3月31日(年4回発行)
 発行：小平市民活動支援センターあすぴあ 〒187-0031 東京都小平市小川東町4-2-1 電話：042-348-2104 Fax：042-348-2115
 E・メール：info@kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp
 制作：指定管理者 特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク URL：http://kodaira-shiminkatsudo-ctr.jp

*市民活動支援公募事業とは…市内で活動する市民活動団体が自ら企画して実施する公益的な事業に対して、市が事業に要する費用の2分の1(最高30万円)を補助する事業。